

クリニカルパス学習会における現状と課題

独立行政法人 国立病院機構 愛媛医療センター
山下 由

第21回 愛媛クリニカルパス研究会

COI開示
発表者名 山下 由

演題発表に関連し、開示すべき
COI 関係にある企業などはありません

当院の概要

四国地区における呼吸器疾患の基幹施設および循環器疾患・重症心身障害児（者）の専門医療施設として位置づけられている。また、結核をはじめ各種政策医療のうち特に慢性疾患の高度専門的医療を担当している。

病床数 一般病床 148床
重心病棟 160床
結核 16床 総計 324床

診療科 内科 呼吸器内科 消化器内科 循環器内科 糖尿病内科
外科 脳神経内科 呼吸器外科 消化器外科 心臓血管外科
麻酔科 整形外科 小児科 放射線科 歯科 脳神経外科
リハビリテーション科 **以上17診療科**

平均在院日数 16.4日（一般病棟 2024年度）
138.2日（重心病棟 2024年度）
病床利用率 76.4%（一般病棟 2024年度）



2024年クリニカルパス使用件数

	レスパイト入院 (経管栄養あり)	レスパイト入院 (経管栄養なし)	上部消化管内 視鏡検査 (外来用)	気管支鏡 検査 (外来用)	下部消化管 内視鏡検査 (外来用)	気管支鏡 検査 (1泊2日)	気管支鏡 検査 (病棟用)	ショートス テイ・レス パイト	胃瘻増設術	肺炎	脳梗塞 (軽症用)
2024年4月 ~ 2025年3月	57	67	494	40	196	19	17	362	7	0	0
	脳梗塞 (中等症 用)	COVID19 (軽症用)	腹腔鏡下 胃ろう造設術 (重心用)	心臓カテー テル検査	ペースメー カー植込術	ジェネレー ター交換	冠動脈形 成術	PSG検査	リードレスペー スメーカー 植え込み術	在宅酸素 導入療法 パス	局所麻酔下 胸腔鏡検査 パス
2024年4月 ~ 2025年3月	0	0	0	86	8	3	16	4	3	6	5
	糖尿病教育 入院	ERCP,ES T,ERBD	上部消化管内 視鏡 (病棟用)	大腸F (病棟用)							
2024年4月 ~ 2025年3月	9	12	71	43	合計：1525件						

当院におけるクリニカルパス活動について

クリニカルパス委員会

- 各部門が出席する
- クリニカルパスの使用状況の把握
- 新規・改訂クリニカルパス承認

クリニカルパスWG

- 各病棟の看護師が参加
- パスの使用状況や、パス使用における問題点の共有
- クリニカルパス作成、レビュー
- クリニカルパスにおける学習会の実施
- クリニカルパスマニュアルの作成

はじめに

当院のクリニカルパスワーキンググループでは、クリニカルパスの学習会の実施に取り組んでいる。スタッフのクリニカルパスの基本、アウトカムやバリエーションに関する知識不足が課題である。ワーキンググループメンバーもパスに関する知識不足を感じながら、パスの修正・作成を行っている。昨年度学習会を開催し、スタッフのパスに関する知識を確認することで今後の課題を明らかにすることができた。



学習会グループの活動内容

- ◆ **問題点**
 - 新たにメンバーとなったスタッフのクリニカルパスについての知識不足
 - 新規パス作成に関して操作方法の知識不足
- ◆ **グループとして何が出来るのか？**
 - 知識や操作方法獲得のための学習会、実技による支援
- ◆ **目標**
 - クリニカルパスWGメンバーと各病棟看護師のクリニカルパスの知識を深める
 - クリニカルパスWGでの学習会の内容を各部署で伝達する
 - WG内でパス作成の操作方法を実践する
- ◆ **取り組み計画**
 - 学習会は「クリニカルパスの基本」「アウトカム」「バリエーション」をテーマとし、計3回実施する
 - スタッフの理解度の把握と知識の定着を目指し、学習会前後に各病棟看護師にテストを行う
 - マニュアルを使用し、電子カルテによるパスの入力方法の演習を実施する

結果 学習会の実施

クリニカルパスの基本

クリニカルパスとは

- 患者を中心に考えチームで共有する「総合医療計画書」

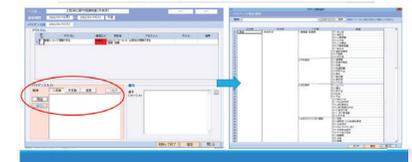
パスは、その対象症例の医療ケアに必要な医療者（医師、看護師、薬剤師、栄養士、理学療法士、リハビリなど）や事務職員など、多職種によって編成されたチームで作成されるもの

目標→「その日、患者を望ましい状態にするための到達目標」
他職種が共有する目標となる



バリエーション

バリエーション登録の実際



アウトカム

アウトカム: 達成目標や到達目標



クリニカルパスWGメンバーに学習会を実施し、各部署でスタッフへ伝達

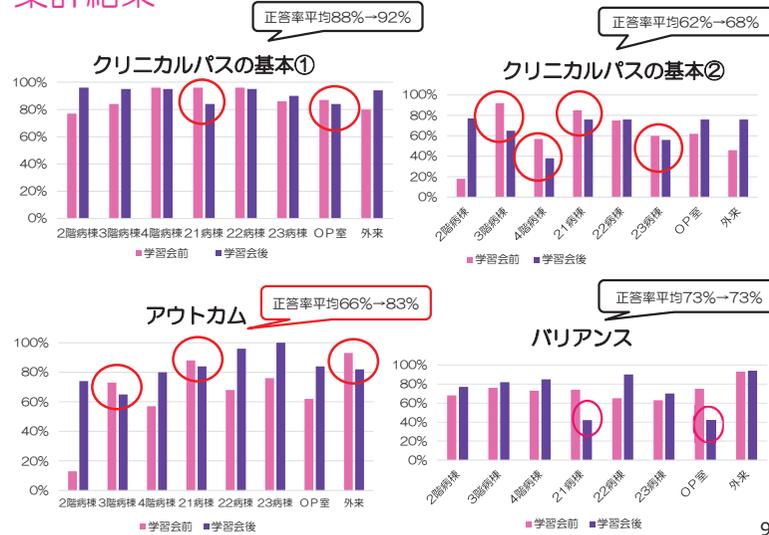
結果 確認テスト集計結果

- 問題①：クリニカルパスで誤っているのはどれか
1. 典型的な経過を示す疾患に用いられる。
 2. 医療者用と患者用との両方を作成する。
 3. 個々の患者の状態に応じて作成する。
 4. 標準的な治療・ケア計画を示す。

- 解答①：クリニカルパスで誤っているのはどれか
1. 典型的な経過を示す疾患に用いられる。
(○) → クリニカルパスは標準的な診療経路なので、**典型的な経過を示す疾患**で用いられることが多い。
 2. 医療者用と患者用との両方を作成する。
(○) → 診療科や患者文化などの情報も共有する、自己管理や患者指導に活かすなどの利点があることから**医療者用と患者用との両方**を作成するのが一般的である。
 3. 個々の患者の状態に応じて作成する。
(×) → クリニカルパスは標準的な治療・ケア計画なので、**個々の患者の状態に合わせて作成するものではない**。
 4. 標準的な治療・ケア計画を示す。
(○) → クリニカルパスには疾患や治療ごとに**標準的な治療・ケア計画**が示されている。

確認テスト 一部抜粋

テスト実施者数
2階 (前22名 後27名)
3階 (前26名 後23名)
4階 (前26名 後26名)
21病棟 (前27名 後25名)
22病棟 (前29名 後21名)
23病棟 (前後30名 30名)
OP室 (前後8名)
外来 (前15名 後17名)



9

結果 演習

1. マニュアルが完成に至っていないため、計画通りに進まずクリニカルパスの実技演習は行うことが出来なかった
2. 知識の提供だけでなく、演習によって学習効果を高められることが考えられるので、次年度への課題とする

結論

1. 確認テスト実施による効果

⇒部署毎の理解度を把握でき、学習会後正答率は上昇した
部署によっては正答率が低下⇒学習会の方法の見直し

2. マニュアルの活用

スタッフはパスの入力方法

WGメンバーはパスの作成を苦手と感じている

3. 今後の課題

演習を取り入れた学習会を実施

パスの評価漏れも続いており、パスの知識を高め

正しいパス運用の推進へ繋げていきたい

クリニカルパス推進へ
繋げる!!!



11

10